

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
株アイリス

四月に入り、暖かくなって来ると、春の紫外線や汗・ホコリ、花粉症の方は目や鼻まわりの痒みなど、お肌にはストレスが増えています。
この季節、ストレスのない清潔な状態にお肌を保つため、正しく洗顔して潤いを守る事が重要です。

春のお肌は

デリケート

新陳代謝も高まり、暖かい室内や動いた後など、汗ばむ事も増えてくるこの季節は、お肌に負担をかけずに清潔を保つ事が、お手入れの大きなポイントになります。

そこで重要なのは、やはり洗顔。

丁度冬肌から春肌に、移り変わる季節ですから、お肌はとてデリケートになっています。

洗顔法の違いによって、お肌の状態には、天と地ほどの差が出てしまいますから要注意です。

お肌の水分量が トラブル回避の決め手

お肌の水分量が不足すると、肌の弾力が失われ、刺激に対してクッション機能が無くなってしまいますので、直接ダメージを受けてしまいます。さらに、肌表面の角質層が乱れてバリア機能が



低下してくると、ますますお肌の水分が失われてしまい、悪循環に陥ってしまうのです。

水分量キープには 水分補給+保湿

弾力や透明感のある、瑞々しく潤ったお肌を保つには、洗顔後お肌がたっぷり水分を含んだ状態で、正しく保湿ケアをする事が重要です。

もともと水分の不足した肌には、どんなに保湿しても弾力や透明感はありません。

お手入れのポイントは、必ず、水分補給をしてから、保湿する。

お風呂上りや洗顔後、お肌が柔らかく、弾力を持った状態でしっかりと水分補給をしてから保湿のお手入れをするよう、習慣づけましょう。

春の潤い肌へ・・・洗顔＆ローションパック!!

すっきりと清潔な状態の素肌をキープして、お肌に余計なストレスを与えない事と、しっかりとお肌の潤いを保つ事。春のお手入れの基本は、たったこのふたつです。季節の変わり目のデリケートな肌には、刺激を少なく、優しくお手入れしましょう。

洗顔

お手入れはまず洗顔から。

汗や毛穴に詰まった皮脂、ホコリや花粉など、お肌にストレスとなるものをすっきりと落とし、清潔な状態をキープしましょう。

- ◆まず、ぬるま湯で顔を軽くすすぎ、次にたっぷりの泡を作ります。



- ◆泡を額・鼻筋・あごの順に乗せ、薬指で小さく円を描く様に肌の上で泡を滑らせます。



- ◆すすぎの時も肌をこすらず、回数を多めに充分すすぎましょう。



パック

たっぷりの泡で優しく洗ったら、市販のマスクやコットンに、たっぷりのアロエローションを含ませてローションパックで潤い肌を。

- ◆アロエローションをマスク又はコットンにたっぷりと含ませます。



- ◆マスク又はコットンを顔に乗せ、手の平で覆うようにして人肌に温め、10～15分間置きます。



- ◆パックをはずし、雪の華を伸ばしたら、最後にホホバを薄く伸ばします。

※長くパックをつけたままでいると、乾いたマスクに肌の水分が戻ってしまうので逆効果です。パックに残ったローションは、首筋や手足に伸ばせばムダになりません。